

まちづくりの目標	2	みんなが安全で快適に暮らせるまち
政策	1	都市基盤を整備し、安全で安心して暮らせるまちにします
施策	5	公共交通が便利なまちにします
		担当部(統括部) 土木下水道部

【実現ステップ】

平成32年度に実現している姿						
市内すべての駅において移動が楽になり、安心して快適に利用できるようになっています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	駅における移動円滑化の問題点の解消方策についての障害と対応策が明らかになっている	駅における移動円滑化の問題点の解消方策を進めている	移動円滑化の問題点の解消方策が進んでいる	移動円滑化の問題点の解消方策が進んでいる	駅における移動円滑化により、安心して快適に利用できるようになっている	市内のすべての駅において移動が楽になり、安心して快適に利用できるようになっている
実績	目標の通りの姿を実現できた					
市域全体の公共交通網が充実し、公共交通機関の利用者が増えています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	市域全体の公共交通網の充実を図るための課題が明確になっている	市域全体の公共交通網の充実を図るための課題が改善されつつある	市域全体の公共交通網の充実を図るための課題が改善されつつある	市域全体の公共交通網の充実を図るための課題が改善されつつある	市域全体の公共交通網の充実を図るための施策が実施されている	市域全体の公共交通網が充実し、公共交通機関利用者が増えている
実績	目標の姿の実現まで至っていない					

実現している姿を確認する指標											
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
鉄道駅におけるエレベーターの設置率	目標	—	—	—	—	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	100.0%	100.0%
	実績	60.0%	60.0%	80.0%	80.0%	80.0%					
公共施設巡回バスの1日平均乗車数	目標	—	—	—	—	74.0人	バス路線網の見直し77.0人	同左80.0人	同左84.0人	同左88.0人	110人
	実績	45.5人	60.7人	67.6人	70.9人	66.5人					
市内循環バスの1日平均乗車数	目標	—	—	—	—	45.0人	バス路線網の見直し47.5人	同左50.0人	同左52.5人	同左55.0人	70人
	実績	46.9人	45.5人	45.0人	42.0人	41.5人					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎JR千里丘駅の西口エレベーター設置											平成25年度事業費計
											—
設置実現に向け、関係機関などとの調整を図ります。											
平成25年度事業	JR千里丘駅西口エレベーター設置事業0円(都市計画課)										
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度					
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度					
計画	JR西日本、鉄道機構等関係機関との協議・調整	JR西日本、鉄道機構等関係機関との協議・調整									
取組実績	JR西日本、鉄道機構等関係機関との協議調整を実施した。										
成果	引き続き、協議・調整していくことが確認できた。										
次年度課題	鉄道事業者主体のバリアフリー化事業の実施及び南北分断解消に向けて継続的協議、調整が必要である。										
計画		支障物件移設工事の実施	支障物件移設工事、エレベーター設置工事等の実施	エレベーター設置工事等の実施、設置完了							
取組実績											
成果											
次年度課題											

◎バス路線網の再編・整備						平成25年度事業費計 36,261千円
阪急摂津市駅の新設や周辺道路状況の変化に伴い、地域や事業者と連携しながら、バス交通の路線網と機能分担を再編し、市域全体の交通網の向上を図ります。						
平成25年度事業	公共交通整備事業261千円・市内循環バス運行補助事業10,000千円・公共施設巡回バス運行事業26,000千円(道路交通課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	既存公共交通網のPR	既存公共交通網のPR	既存公共交通網のPR	既存公共交通網のPR	既存公共交通網のPR	既存公共交通網のPR
取組実績	広報誌掲載及びホームページの充実を行った。					
成果	市民周知に一定の効果があつた。					
次年度課題	さらなる周知活動の充実が必要である。					
計画	公共交通バス路線等を見直し、市域全体の公共交通網を検討	公共交通バス路線に対する市民ニーズを反映させた市域全体の公共交通網の再編成	市域全体の公共交通網の実証運行の実施と検証	市域全体の公共交通網の実証運行の実施と検証	市域全体の公共交通網の評価及び見直し	市域全体の公共交通網の評価及び見直し
取組実績	事業者との協議及び地域ニーズを把握するために市民アンケートを実施した。					
成果	約1600件のアンケート調査票を回収し、世代別の意識集約が完了した。					
次年度課題	市民ニーズを反映させるため、既存バス路線との競合の調整を行う必要がある。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

協働による公共交通の充実						平成25年度事業費計 36,261千円
市民、バス事業者、市で組織する懇談会を設置して、バス交通全体の機能分担の再編及び利用促進を図ります。						
平成25年度事業	公共交通整備事業261千円・市内循環バス運行補助事業10,000千円・公共施設巡回バス運行事業26,000千円(道路交通課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	懇談会により、公共交通バス等の機能分担や再編の方向性を検討	懇談会により、地域ニーズを踏まえた最適な交通網を検討するとともに、次年度以降において試行期間を定めて公共交通バス等の実証運行を開始	懇談会により、地域ニーズを踏まえた最適な交通網を検討するとともに、試行期間を定めて公共交通バス等の実証運行を実施	懇談会により、地域ニーズを踏まえた最適な交通網を検討するとともに、試行期間を定めて公共交通バス等の実証運行を実施	地域ニーズに合わせた実証運行の評価及び検証	地域ニーズに合わせた実証運行の評価及び見直し
取組実績	老人クラブ及び自治連合会役員会との懇談会を実施した。					
成果	自治連合会の協力により市民アンケートを実施し、バス交通に対する要望等の意識調査結果を集約した。					
次年度課題	地域ニーズを踏まえた最適な交通網の試案作成が必要である。					